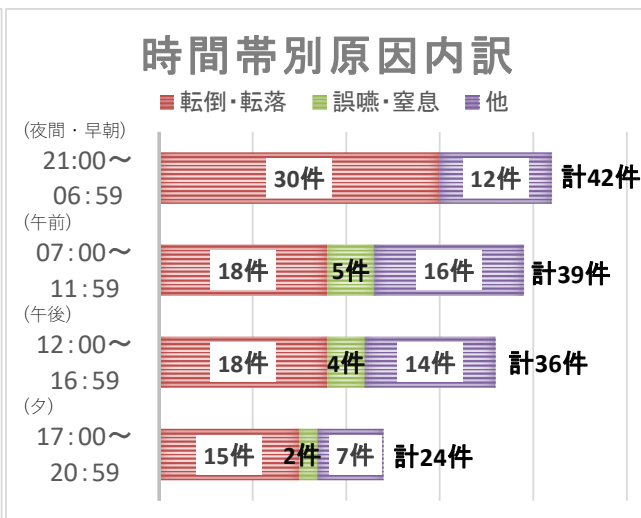
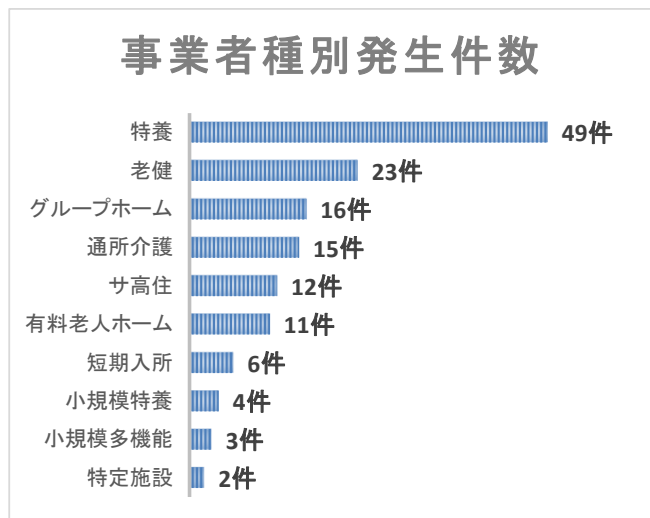
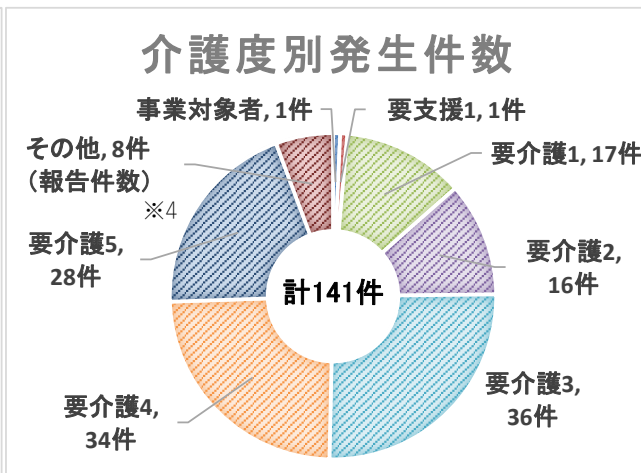
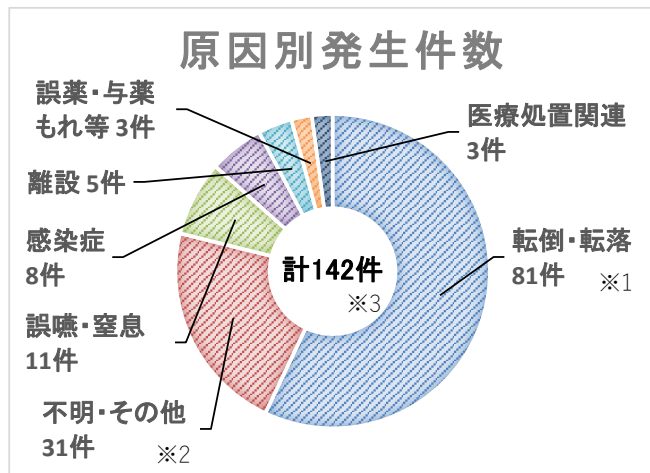


# 令和4年度 介護保険サービス事業所における事故報告まとめ (令和4年4月～令和5年3月 日立市への報告分)

令和6年3月

報告件数内訳			事故による傷病・症状内訳			
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度	
総件数	141件	101件	切傷・擦過傷	12件	6件	
内訳	市内	132件	91件	打撲・捻挫・脱臼	3件	5件
	市外	9件	10件	骨折	94件	75件
死亡件数(再掲)	11件	4件	感染症	8件	2件	
			食中毒	0件	1件	
			意識消失・心肺停止	11件	3件	
			その他	13件	9件	
			計	141件	101件	



#### ○気になる事例

- ・ 特養にて、徘徊症状のある入所者が頭部より出血しながら歩いている状態を発見。短期入所サービス利用者の居室に入り、その部屋の利用者が杖で頭部を叩いた模様。
- ・ 麻痺のある利用者が機能訓練中に転倒。歩行困難だったが看護師や家族に連絡せず、介助のもと自宅に送迎。出迎えた家族より連絡があるべきだったと指摘を受けた。その後家族の要請で救急搬送となり、骨折の診断。
- ・ 浴室・脱衣所における4件の事故のうち2件は入浴後の意識消失による転落を伴っていた。

※1 本人が転倒したと訴えている場合は転倒・転落とした。  
 ※2 記録上で転倒・転落と断言できない場合は不明とした。  
 ※3 離設し、敷地外で転倒し負傷した1件の事故について、離設1件 転倒1件(のべ2件)とした。  
 ※4 その他の内訳：対象が複数名(感染症)である報告 8件

## 事例の詳細

### ○死亡件数：11件

- ・ 誤嚥や窒息による死亡 (それによる状態悪化後の死亡を含む) (窒息も疑われるが不明確な場合を含まず)：6件
- ・ 令和4年4月～令和5年1月：4件 令和5年2月～3月：7件

### 【死亡事例の詳細】

- ①食後、顔面蒼白・意識消失の状態を発見。吸引により食物残渣あり。窒息による呼吸停止と診断。普段から食べるスピードが速かった。
- ②食事直後、苦悶表情の後数分内に意識消失。心臓マッサージ継続し心拍再開、自発呼吸・意識なしで入院。窒息の診断。1週間後死亡が確認された。普段から食べるスピードが速かった。
- ③起床時バイタル著変なし、約3時間後顔面蒼白・肩呼吸出現、血圧測定不能になり、救急搬送。不詳のない死亡診断。2週間前より食事・水分摂取量減少により点滴治療を受けていた。
- ④施設で新型コロナウイルスへの集団感染が発生。入所者のうち1名が搬送先の病院で陽性確認。翌日肺炎による死亡。
- ⑤朝検温のため訪室すると意識消失しており、救急搬送先で死亡。
- ⑥食後、顔面蒼白・意識消失の状態を発見。救急搬送先で窒息による死亡となる。平時より痰が多くからんでいた。
- ⑦食事中、意識消失・呼吸／脈拍なしの状態を発見。家族希望により救急搬送なし、施設医による死亡診断。誤嚥による呼吸不全。発熱とそれによる精神不安定の状況だった。
- ⑧朝食を数口摂取、昼食開始するも拒否、昼食時間中に顔面蒼白・反応がない状態を発見。数日間ほとんど食事摂取できていなかった。窒息または老衰による死亡。
- ⑨食事摂取し10分後に側臥位にて臥床、40分後に呼吸・脈拍なしの状態を発見。窒息による死亡。多系統萎縮症による嚥下機能の低下がみられていた。
- ⑩食事中、痰がからんでいたため摂取中止し、タッピング等行い喀出を促す。20分程座位保持後、喘鳴あったが本人希望により右半身45°傾けた状態で静養。8分後反応鈍麻した状態を発見。救急搬送先で死亡。直接的な死因は不明の診断。
- ⑪おやつをベッド上で摂取、40分間ギャッチアップ状態保持し、排泄介助後に左側臥位。20分後、意識消失・顔色不良の状態を発見。救急搬送後心拍再開するも、2日後死去。嘔吐による窒息。